



Kohta Satake

佐竹 晃太

株式会社CureApp
代表取締役CEO 兼 医師

【会社所在地】〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-5 小伝馬町YSビル4階

【事業紹介】医療機器である疾患治療用アプリの開発を行う。2020年に国内初となるニコチン依存症治療アプリが薬事承認取得、保険収載された。現在対象疾患を拡大中。



ソフトウェアで 「治療」を再創造する

CureAppは、進化するテクノロジーを活用した新しい治療を生み出すことで医療を取り巻く社会課題を解決し、全ての人が安心して質の高い治療を受けられる理想の医療を実現します。

【PROFILE】

1982年生まれ
慶應義塾大学医学部卒業後、日本赤十字社医療センター等で呼吸器内科医として勤務。上海MBA留学後、米国ジョーンズ・ホプキンス大学公衆衛生大学院で医療情報科学を研究。帰国後、CureApp創業。
2020年8月ニコチン依存症治療用アプリの薬事承認を世界で初めて取得。その他、東京大学・自治医科大学と生活習慣病領域の治療用アプリの研究開発を推進。アプリの開発をしながら、現在も診療を行う。

【創業年】2014年

医師のキャリアしかない中、本格的なソフトウェア開発、資金調達、学会活動、メンバー集めなど、初めてのことに取り組み沢山の壁にぶつかった。それでも「全ての人が安心していつでも良質な医療を享受できること」というインフラとしての医療を日本が維持継続できるよう、強い思いを持って治療アプリ事業を進め2020年12月には国内初の保険適用を獲得した。今後も強い思いを持って、様々な領域で治療アプリ事業を進めていく。

【座右の銘】 人事を尽くして天命を待つ

会社の特徴

アプリで治療する未来を創造する

従来の医薬品やハードウェア医療機器では治療効果が不十分だった病気を治すために、医学的エビデンスに基づいた医療機器プログラム『治療アプリ』を開発しています。デジタル療法という新たな治療を診療現場に広く普及させ、一人でも多くの患者様に届けることを目指します。

事業・サービスの強み

すべての人が安心して いつでも良質な医療を享受できる社会の実現

治療用アプリは医薬品と比較して開発コストが抑えられる一方、医薬品と同程度またはそれ以上の治療効果を得ることができるため費用対効果の高い治療が期待できます。さらに、多くの疾患に対する治療用アプリの社会実装を通じて医療格差、医療費抑制、治療空白、医薬品質といった医療社会課題の解決にも寄与します。



▲日本初、医師が処方する治療アプリ

ニコチン 依存症	CureApp SC 2020年12月 日本初の治療用アプリとして上市	慶應義塾大学 [医師法人向け事業] OSCURA 守蔵
高血圧	高血圧治療アプリ 現在、Ph3試験終了 / 2021年5月薬事申請	自治医科大学
NASH	NASH (非アルコール性脂肪肝炎) 治療アプリ 現在、Ph2臨床試験実施中	東京大学
アルコール 依存症	アルコール依存症治療アプリ 現在、Ph2臨床試験実施中	千葉県医療センター / 福山市立市民病院
がん	がん患者支援治療アプリ 製品開発に向けて、第一三共と共同開発開始	第一三共株式会社

▲疾患領域とアカデミアとの連携